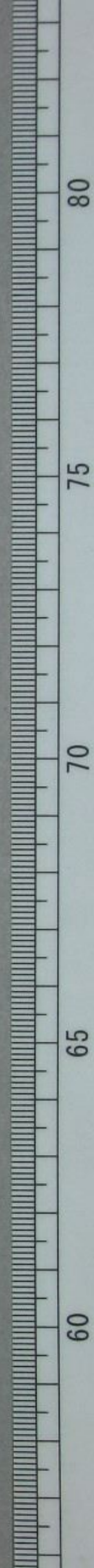


湯

幽  
明  
日  
記  
十七

八波日  
1034  
17









于乾大根... 二十一... 丁未... 大進... 于役... 所但...  
口上書出... 從之... 問答... 寸四... 重... 箱價... 四十... 及今... 里... 凌... 五...  
良... 佳... 年... 六... 冊... 八... 幅... 二十... 二... 日... 戊... 申... 雨... 剝... 髮... 買... 前... 田... 藤... 藏... 之...  
二十三... 日... 己... 酉... 晴... 行... 宗... 未... 教... 茶... 二十... 四... 日... 庚... 戌... 晴... 師... 食... 後... 行...  
一... 法... 華... 懺... 法... 及... 法... 華... 七... 之... 卷... 並... 和... 韻... 也... 但... 靜... 林... 寺... 常... 寂... 院... 輝... 參... 故...  
靈... 各... 部... 屋... 交... 代... 己... 後... 改... 削... 之... 事... 予... 不... 閱... 之... 公... 書... 加... 於... 真... 俗... 先... 亡... 之...  
二十... 五... 日... 庚... 亥... 晴... 暖... 嘉... 造... 未... 磨... 末... 月... 朔... 後... 出... 勤... 之... 事... 午... 後... 自...  
者... 十... 四... 日... 給... 酒... 飯... 為... 勞... 二十... 六... 日... 壬... 子... 晴... 御... 社... 出... 仕... 桐... 洞... 間...  
七... 直... 去... 西... 風... 寒... 入... 浴... 行... 厨... 後... 往... 訪... 田... 村... 云... 春... 初... 高... 三... 州... 及... 淳... 在... 凡... 名...  
吉... 飛... 彈... 昇... 進... 五... 位... 送... 酒... 恭... 賀... 之... 永... 二十... 七... 日... 癸... 丑... 晴... 治... 了... 役... 所...  
吹... 佛... 書... 並... 葉... 子... 科... 金... 百... 匹... 地... 福... 院... 轉... 住... 屋... 更... 之... 二十... 八... 日... 甲... 寅...  
晴... 寒... 初... 見... 薄... 冰... 之... 佛... 院... 議... 飯... 山... 之... 事... 昨... 夜... 物... 持... 坊... 澹... 頂... 執...  
言... 酒... 并... 左... 工... 門... 尉... 牧... 野... 偏... 前... 守... 李... 平... 大... 和... 守... 之... 三... 家... 國... 替... 李... 平...  
二十... 九... 日... 乙... 卯... 自... 山... 田... 村... 運... 送... 蕎... 麥... 二... 依... 之... 佛... 院... 乾... 活... 終... 射... 之...  
定... 於... 中... 將... 定... 吉... 隨... 佛... 鈎... 祥... 月... 智... 三十... 日... 丙... 辰... 晴... 作... 致... 三... 光... 院... 地... 福...  
中... 將... 等... 遊... 十... 能... 茶... 山... 入... 夜... 後... 飯... 入... 浴... 剃... 髮... 之... 寬... 藏... 未... 脰... 秦... 之...  
朔... 日... 丁... 巳... 晴... 金... 一... 致... 竟... 成... 院... 返... 書... 公... 比... 寫... 龜... 三... 高... 末... 初... 相... 見... 以...  
田... 嘉... 造... 自... 今... 日... 出... 仕... 佛... 京... 二... 日... 戊... 午... 晴... 持... 坊... 齋... 廠... 院... 實... 索... 房...  
院... 中... 將... 等... 赴... 干... 常... 寂... 院... 招... 飯... 二... 日... 戊... 午... 晴... 持... 坊... 齋... 廠... 院... 實... 索... 房...

六月分終

極月

田嘉造自今日出仕... 院中將等赴干常寂院招飯... 二日戊午晴... 持坊齋廠院實索房



隨緣律師書以唐扇一柄白冊子一冊贈隨緣師  
 得平大郎遊于浦戶渡公簿暮飯末公佛余院買河漏子供院  
 內上下及靜林寺三日己未晴一長身寺末公福聚院末贈蓋  
 常表院等公公  
 子二重公河冷漏子私於山田村四日房中晴但路用並調買物之  
 之蕎麥調河冷漏子私於山田村四日房中晴但路用並調買物之  
 料也以金山番重即及藤造贈河漏子公十世之人步末公五日  
 入浴公山番重即及藤造贈河漏子公十世之人步末公五日  
 辛酉暗而佛泉院中將左京奈足上師傳二相上程送人步至千獲  
 寺去公續安小柳文伊名波文庫市二編六日午戌雲讀小柳史  
 三益氣湯葛根便賀進于市種七日癸亥而葉種公至暮而止公刻  
 八日甲子晴式文部十月十日之書及竟進香至山門九日乙丑  
 雲雨公入浴公造鍋燒當村旧居公十日丙寅暗桐間家使人  
 危切之事由之便大進向之公午後亦人末告死之旨公由  
 亦遣作之助述悔公剃髮公真証寺末茶誦贈之國子歌誼一

冊公寬造末形卷乃與之次平太寺公  
 入市買末故袴二乃與之次平太寺公  
 臺新煤拂公入浴公稱名寺並長德院贈納豆公佛余院送步  
 飯末教佛余院之書公書中告亦仙洞御所先月公佛余院送步  
 御之凡聞有之始公訓續血量壽經出勤妻于年回故十二日戊  
 辰晴附買大根于飛脚公閱僧剃日記成教放生文十三日己巳晴  
 雪小散不至布地公晚飯調理如忌日公十四日午庚暗寒時己  
 此日為春未之定日晚飯調理如忌日公十四日午庚暗寒時己  
 前行王經御下卷然証判之末牙遲聽午鐘而中食少時御祈禱始  
 品三尖也公勤六末于御收取相全之為也公街祈禱者太守孫  
 明年空正月公勤六末于御收取相全之為也公街祈禱者太守孫  
 京院之大師而公勤六末于御收取相全之為也公街祈禱者太守孫  
 人然祈禱中故緝之公勤六末于御收取相全之為也公街祈禱者太守孫  
 去十五日辛未徵陰地供修行中食後例茶法樂而飯公祈禱本  
 御所崩御實事之由也十六日壬申陰末云近日潮江一駄公繁藏  
 然停止杯無之由也十六日壬申陰末云近日潮江一駄公繁藏



靜林寺未呈珠吾所作之諸帳面而彼者之所負四廿百十  
 七夕九分六厘也然去冬於下村某借八錢五貫百目此銀  
 令琢吾償之其不足之分補遺之筆誤合焉就常寂院造立雜  
 費不足二又四百五十三夕余自當院并之分者七朱利子六  
 年：賦許容之長乘寺失任借用分六百三十一夕四分右  
 同：標許容之三夕夜羊公人持未觸書其事者仙洞御所去月十  
 九日崩御由之從今日三日之間鳴物停止又若殿之作七  
 標去月三十日死由之從今日三日之間鳴物停止又若殿之作七  
 日止之間鳴物十七日祭酒晴相中故定例御宮法集不修之  
 今：終之因之令治部卿吊之世以毫王喬一把之為之慢次出  
 賀：厥赴之升之展故昨今不出仕之幸寂院未之昨命大鏡之磨  
 市：繁藏收於金二朱錢四也十八日甲戌晴看昂堂師之行  
 文：政四年比看山之行等十九日乙亥晴午後雨降不疊方  
 三：浦末脰秦去剝髮之十九日乙亥晴午後雨降不疊方  
 寺：致馬沙種五貫目許但至一步分也入浴見信藏末二十日丙  
 調：歲暮進物之錢不之常寂院未之入浴見信藏末二十日丙  
 子：羊製羊羹之頃日看江戶各所通之調歲暮贈物二十一日丁丑陰  
 初：裝妙極堂教誠之令調歲暮贈物二十一日丁丑陰

之贈物致與從者等而尚停止之磨成二十二日戊寅晴買青海苔  
 中：故藩中不送之令大鏡之磨成二十二日戊寅晴買青海苔  
 替：其病重彼若死將及令我近俗續之家二十三曰己卯晴真証  
 下：於高知之醫者今富干浪花塩田玄龜之長崎木下示以云  
 逸：雲見托手簡但遣重課之價返書也之真証寺儲受別号乃  
 令：欲大進配於敬著贈物致一城下諸家之曆二十四日庚辰晴  
 金：餅持日也令常寂院貸之也一步交于常寂院是時之助父賴備於  
 明：日政五部攝二十五日辛巳晴告社治部卿出役之喜平末  
 脚：社參科之門二十五日辛巳晴告社治部卿出役之喜平末  
 瀧：宮坊福壽院贈扇二菓子箱一著橘三枚栗茶而去詣干真  
 之：蓋所飲路詣幸寂院之墓所而去入浴之深尾匠內殿依  
 例：見贈與錢五束之款資之二惟原二十六日壬午晴刺髮之  
 看：折披榮有省之自東館賜大杉原二十六日壬午晴刺髮之  
 奈：也出仕飲路坊相問主全贈餐饅頭之分三十蓋為忌中之見  
 其：外贈物人以病故家老取謁之福壽院未贈于橋瀆物亦之  
 間：年忘宴招靜林寺常寂院毒原刑部近二十七曰祭末晴台東



七月分統

唱

金

御奉書末古金銀引為漸細並御配下之寺社分限書明夏近  
 可出之有也三時之助父承告朋正月九日祭足下向于江戶  
 昨日在自來今日寬藏之末子于村二十八日甲申陰日江村氏保氏  
 露酒一壺村怒平贈款彩之塩屋之十兩借券文例贈金百匹甘  
 之金拾兩收券文之大鏡星雲浮出治部卿改名行妙房終夜而  
 自喻前雨降不止故亦遣之磨師改行妙房終夜而  
 二十九日乙酉陰內匠被免御奉行職之助蒙御奉行職深尾  
 番重助及藤造送蓋麥粉五袋三十日丙戌晴夏四月十八日  
 時之助中庸之序弄黃單之袋三十日丙戌晴夏四月十八日  
 千二百一萬四千七百八十五及合文一萬六千三百一十七  
 數總計一萬四千七百八十五及合文一萬六千三百一十七  
 以未用羊素指三時並社例祭法乘如子日襲小糸也予先  
 法乘心經三卷尊勝陀羅尼某師大咒也神酒與載之龍宮法  
 樂次御意法乘如乘之夜琢善之妻女未送寮相相見乃以江  
 戶給于賀造幸寂院証之

天保十二年壬午春

正月小建庚寅

朔日丁亥開寅起於日課誦天明修護摩供而後小食午  
 頂戴有之早中食乘輿赴于御社法乘如例奉幣神酒頂戴  
 御路過于行宗之家申頃而去之靜林寺毒毒等末願相見  
 觸之儀之山番擇除番等末見之收次昨夜致仕之睡前見  
 後晴靜林寺等贈祝品如昨春之當年二日戊子陰昨夜感汗  
 暖之與扇之式之意三味為始二日戊子陰昨夜感汗  
 出之小食前護摩供之由病不出之自台行麻葛根  
 湯服之五條也御社治了卿出勤予由病不出之自台行麻葛根  
 換金之服之常寂院等調分室引之諸品及菓種日着飯末之合不  
 福引之不出六人三日己丑暗菓小食前護摩供修行之子不  
 予病故不出席三日己丑暗菓小食前護摩供修行之子不  
 智妙不行妙前田中四氏未多後次四日庚寅晴放光後十日  
 賀皆不見妙前田中四氏未多後次四日庚寅晴放光後十日



書建竟成院密嚴院妙音院之書并至乃佛象院箴山之事谷  
許容之有申來公仙洞棟崩街箱十九日宗十八日依之天台  
會中問者命我後心經十萬卷街祈禱亦御修法執行報申未  
天台會十九日酉下刻欲申也三修敬竟院及書及致研采  
院書二通五五日辛卯晴後陰今凡卯未愈故昨日暘採年賀之所  
證判及東街屋敷餅之智妙寺箱奧之蓋所午午時林各寺  
為年賀東供扇藤及菓茶公見贈扇箱乃菓子箱利髮公作  
致構下何取守書六日壬辰晴小食後為年賀京輿出城市  
街仕置三家卿近習家老山中務街美者二家街日付三家  
街近習日付一家卿用役一家都台十四軒深尾內匠田村  
春每法寺延糖筆真如寺礎花林各寺湘濬承國寺烟草具以  
扇箱及菓子贈田村公奉東街屋敷獻上五本入送恐悅公於  
月城街於所午行厨而去衣者直銀薪袋裝帽子也留守中  
江村公伊勢守來賀田村少者喜十良俸某頃送唐橋五枚  
七日癸巳晴社北山齋話公御官法集如例衣者羊素絹三緒也  
時之助省家是由來九日親父奈也以此花布一牛拭一贈為  
戲公永國寺來賀見送五本入箱相見供祝酒養菓茶一能去

真証寺希呈有米糖一曲釜數一相見供酒茶暫時話而去  
田所左之助來賀對真証寺之向故不見公行妙房俗見沃田  
春耕來呈酒肴相見公八日甲午晴寒竹平來賀公時之助便  
余朝珍來呈酒肴相見公八日甲午晴寒竹平來賀公時之助便  
門寂年賀十七通予寫花杆及再詰寺封之公此日凍不融  
省田信造兼吉明日卦干普請場公長乘寺來呈酒契素麵人融  
九日乙未晴之日發出門赴御社辰鐘後大守御代拜山內勝  
後刻飯院公入浴公米屋八十八鷗酒昆布云十日丙申晴要  
時之助親父今夕上程乃蒸之飯山門書簡云十日丙申晴要  
寺便僧相贈菓子一箱公長乘寺去公朱肉十一日丁酉陰昨  
匪生村役人公來宿公續編故要畧公昨製十一日丁酉陰昨  
雪布屋頸公今日馬乘初之創日也然曇天故延引公讀設法  
明眼命公着太上處應圖鏡公匡林想平來見之蜜柑乾柿  
一孟公刺髮公時之助飯來因買東陽皮三十斤公十二日戊  
刑部事公長門來送蜜柑一孟乃之酒二斤公十三日己  
戌暗智妙房出干役所公靜林寺及常寂院來檢於十三日己  
亥晴為節分奉祀赴干所社法坐如例公叩時所宮節分法集  
如例公入夜修行節分會誦般若心經數十卷但自六七



全

日以前人別業誦之矣後所  
 社者午後知房出後修不勤供相是去月未自江戶  
 一坐加持守護札之旨已時立春也  
 者飲十五日辛丑晴禮社  
 路拜於真如寺後修之  
 加持守護札之旨已時立春也  
 寅時 靜林寺 寂寂未為  
 御社 末郁考 祥改各內膳  
 華十七日癸卯羊 祥明各代前野大藏  
 也 例式祭祀修之日三浦奉賀  
 夜 為之作助言明日膳供之方  
 介契 于竟奈院先過靜林寺  
 賀春送青紙二折酒二斤券又  
 法 門品和賀也

全

身五去拜禮熊野清川社寺而  
 四十餘人分酒飲而為中者  
 而 當年謝齋中不為設至僧  
 乙 己晴刑部末謝齋差出之  
 感 應 第 圖 說 二十一日丁未晴  
 二十三日巳酉晴 照衛樣院  
 昨 之 助 行 之 旨 入 浴 食 齋  
 知 妙 房 出 仕 之 政 五 節 探 之 街 少 女 御 拜 之 子 太 郎 而 後 悔 之  
 智 妙 房 出 仕 之 政 五 節 探 之 街 少 女 御 拜 之 子 太 郎 而 後 悔 之  
 時 妙 房 出 仕 之 政 五 節 探 之 街 少 女 御 拜 之 子 太 郎 而 後 悔 之  
 守 護 末 茶 話 移 時 是 供 中 食 藉 話 之 間 是 示 古 葦 手 鑑 及 明 画



取卷着色蓮之軸未刻後去訪相良忠吾之許贈三存八  
 扇箱一六初布二現刻筆法而去近日暮飯前雨降公吉白  
 院去年玉送箱之書並樹下所房時書連又十一月廿六日  
 院去月廿五日之書並樹下所房時書連又十一月廿六日  
 十書連是送舍城六射山水六枚分佛余淡去月十日九龜出  
 二十七日祭且晴風石修致方助報書午後作二十八日甲寅晴  
 智妙房印時已前出仕于街社儀大隔標街代奈及大學樣  
 奈拜也六子與市中火事後聽之村氏某出火其隣井上武石  
 工門亦五軒親火飛燒早家去浙之四羊後兵部樣內膳樣  
 官及天王宮御等奉拜也大陽振代時者井上伏也依火事  
 之故御社所官等奉拜也大陽振代時者井上伏也依火事  
 依火事兩所御等奉拜也大陽振代時者井上伏也依火事  
 五之二十九日巳卯晴山田甲八鄉屋平三郎觀當病平愈  
 拜向山境限公社次奉墓所回向次与知妙佳造姓于十助之家  
 入浴並昆布与老母云

閏正月大

朔日丙辰滿覺 御宮祀如例御社行經妙房出仕續刊謬正俗  
 相間主鈴：飯交疑篤二州余煌書二日丁巳曇當病平愈  
 竹之彩本於己止點蓋去春所償也或三節之旗未請  
 新寶篋印陀羅尼作祈禱札菓子及黑白沙糖以袂包之  
 冬所贈甘字分色之三曰戊午晴命山林竹木守護八念之旨  
 味大損故觀分色之三曰戊午晴命山林竹木守護八念之旨  
 脚後作於字與之書四日巳未晴午後利髮入浴云行宗春  
 五日庚申陰劫干御社辰子封太學樣御奈拜不訪幸通寺以  
 一茶話而去飯寺午食之午時後於不樣六日辛酉晴信藏  
 昨自來飲公 七日子戌晴佳造智妙房平太高姓平山是方  
 醜平三郎死公 七日子戌晴佳造智妙房平太高姓平山是方  
 言一昨自來飲公 七日子戌晴佳造智妙房平太高姓平山是方  
 言一昨自來飲公 七日子戌晴佳造智妙房平太高姓平山是方



九月廿九

人申春禱十四日將九日甲子陰  
 修例春禱十四日將九日甲子陰  
 乙丑而取小感邪服菓公使平  
 雲暗箱手修現音闕石羽之像  
 八師五部九卷行南紀書籍生傳  
 效管院正月把算子一箱竟城  
 雄猷去十揆一月廿日死去見  
 海日朝八小川送湯史去之由  
 張勤定十二日丁卯雨佳工  
 欲賣之竹林教可四增為七  
 百目買之云竹高云增為七  
 智妙不之云夜十三日戊辰而  
 例送米一俵豆一俵又見明日

有障故禱祈禱之事  
 之六尺二枚屏風一護四尺六枚屏風  
 保金百兩者賜新金百九  
 入浴公所賜之室相畫其羊  
 十宮馬場之西也  
 記上人行狀  
 日癸酉晴凡  
 仁王經修而法  
 看二種而亦有土器  
 古來送迎諸國君之時假  
 日之祈禱諸國君之時假  
 卯不勤而吾收其拜金  
 竹林賣干豚吾收其拜金  
 甲戌子性生俸公入浴  
 二十日乙亥雨  
 不止夜雨  
 二十一日



休齋

丙子雨 午後雨止 二十二日丁丑晴 常寂院 二十三日戊寅  
 昨夜雨 午後雨止 智妙房 二十四日己卯雨 智妙房 祭于之父  
 由亡父十三日 恩卦之妙房 二十四日己卯雨 智妙房 祭于之父  
 林寺末之坊 二十五日辰辰晴 智妙房 祭于之父  
 昨夜雨 入浴之屋 八十八日 智妙房 祭于之父  
 實造末之坊 常寂院 末之坊 祭于之父  
 乞卦于仕置方之家 俊願事 二十七日壬午陰 昨街社 智  
 知妙房 封干後所之山門式了 正月十八日 書京 都藤原年  
 願狀一表 二袋 盧山寺之等 院今月六日 書並 仙洞 街中陰  
 法事用 葩五枚 淺草 海苔一帖 至寺 院者 刑部之改 各也 伏  
 見官 葬去由也 仙洞 街贈子 未有之 禁中者 正月二十日  
 廿後 御供用 鳥魚 然上 尚不用 之 佛 乘 院 先月 二十八日 癸未  
 晴 竹 平 末 之 二十九日 甲申 晴 智妙房 行 妙房 時 之 助 為 炮 術 一  
 髮 除 之 二十日 書中 將 書 十月 至 之 夜 喜 平 末 之 居 干 奉 齋 寺 村 京 都  
 授 經 引 之 旨 也 之 刑 了 末 及 級 戶 凡 三 州 之 著 前 智 妙 房 士

三十日乙酉雨 梅紅梅干床上 常寂院 之家 夜雨及曉

二月

朔日丙戌陰 社 例 月 法 桌 相 勤 而 弁 中 食 後 飯 之 事 自 又 赴 行  
 寂院 末 晴 後 於 天 王 社 寶 削 伶 火 頸 祭 法 桌 誦 心 經 各 送 物 例  
 五 百 蘇 卷 之 後 靜 林 寺 木 長 脚 歷 可 酒 飲 之 靜 林 寺 常 寂 院  
 也 扁 子 一 重 二 日 丁 亥 年 剃 髮 之 未 牌 相 間 主 金 末 茶 託 之 間  
 所 額 字 並 竺 山 小 景 山 水 後 去 之 喜 平 末 之 昨 春 見 囑 日 野 公  
 之 額 字 並 竺 山 小 景 山 水 後 去 之 喜 平 末 之 昨 春 見 囑 日 野 公  
 人 物 志 一 州 俱 夕 應 魚 小 後 去 之 喜 平 末 之 昨 春 見 囑 日 野 公  
 深 宗 舟 姓 仁 舟 田 瀆 觀 種 炮 術 辰 後 解 纜 午 前 着 種 寄 性 炮  
 不 借 突 故 飯 舟 先 之 迴 舟 干 仁 舟 田 瀆 觀 種 炮 術 辰 後 解 纜 午 前 着 種 寄 性 炮  
 故 借 突 故 飯 舟 先 之 迴 舟 干 仁 舟 田 瀆 觀 種 炮 術 辰 後 解 纜 午 前 着 種 寄 性 炮  
 或 入 一 小 祠 拜 舍 飯 瓜 葉 茶 以 待 塩 屬 近 畔 時 終 解 纜 然 猶 凡  
 強 派 高 不 可 拜 舍 飯 瓜 葉 茶 以 待 塩 屬 近 畔 時 終 解 纜 然 猶 凡  
 恭 作 揖 舟 從 之 十 餘 守 中 吉 田 云 舟 知 子 云 宿 末 呈 齋 箱 四 日 己 丑

休齋











○ 倍從而暇因西三日而病死○三日丁巳晴令種櫻苗若  
 日夕幸寂院來習大會節○而○  
 裁奉仰公收次來彼者先月指下贊而奎昆學公喜平來所  
 獨田送資公收買根古屋銷一廷為布團或也英証寺來所  
 廟乞正公及奎州及秀旅公又貨之廟坊平三枚如意君傳  
 女至同春抄大走普照集公今日足冷公日暮幸寂院習公  
 四日申午而 昨日於浦戶口舟六七獲公五日己未平入浴公  
 隨草教部亦貨竹憲六日庚申晴之先月收納分之伴今日受取  
 十日也公荷香雜識七十五枚清寫飲七日辛酉雨布團修  
 外平包棒惱入平本箱公靜林寺送獨坊牙公與妙等活八  
 日壬戌雨二買壁紙二十六未債三十五夕余以九日癸亥雨行別  
 會二之卷夜半後逐十日甲子雨夜雨至曉後如平和雷鳴  
 病遺平大即御真造初○十一日乙丑晴晴瑞幸田果以荷香  
 看之公琢吾贈第三本○

○ 之自愛宕山教學院是贈扇也 十二日丙寅平作之即平太  
 子十卒是高野區齋五十一之齋也  
 山抹筆教幸來心多時之助三十三回忌執行故可致少之用  
 取庭後存袋竹子教幸公從所助幣來示八十九日寬和院概  
 心等 十三日丁卯羊後而午後靜林寺來示及片法大師之書  
 於活彩時与幸宮化左寺去月十四日戊辰平利髮平洗腦  
 十三日ノ書建告庄藏死去者 十四日戊辰平利髮平洗腦  
 加持守護札但正月上于國君命也八時後到干草寂院二  
 廿五回忌三廿三回忌之非時集詣女來也六之卷一奏  
 賣角後喉一計三菜之敬而茶茶之去 十五日巳亥雨干草寂  
 長樂寺樂濟午蒸物一抱子初是之去 十五日巳亥雨干草寂  
 院法華做法喉一計三菜之敬而茶茶之去 十六日庚子平大  
 信藏吉大良寺來公上守護札智妙房便 十六日庚子平大  
 筆末以節贈干行 十七日辛丑雨寒佳藏律干市中買來太  
 序相良又兩家公 十七日辛丑雨寒佳藏律干市中買來太  
 京啓午真藏詳不是破托書卅子公夜山門書屈乃竟城院二  
 月四日書佛余院二月六日及十四日書式下二月十九日書  
 中將三月三日書勢加福寺二月九日書建公大御所攝御  
 他界閏正月七日表披露晦日海葬式者二月十七日也由之



二月七日之時先規之通外錫杖修行故妙音院地福院用教院  
 壇變或病中難俄由張收帳十八日壬寅晴寒修報于竟誠院  
 寂院未飯於去冬所貨于藤欽之身全不張十九日癸卯清寒修  
 十兩去買古銀釘令方蕪欽之身全不張十九日癸卯清寒修  
 式部書考以別行云電誅罕次始我流不真証寺未返彩幸又  
 貨簡彩幸三枚云云茶居移時去云竹平未返上春書且平所摸  
 魚借體得抄寺未云淨福寺乞竭又中廟之素階舉二十日甲辰味  
 未明前役所切席末自二十日澱業之鳴物救之遊與之鳴  
 物殺生未免之切席末自二十日澱業之鳴物救之遊與之鳴  
 朱贈致充院云以朱贈魚山親心院僧正為室宗院香儀云以全二  
 年不亭寂院上京八月申道延引云月曉時云二十一乙巳晴  
 修教雙嚴院書送全一朱但年玉烟管二本之謝也云于山檢  
 岸寂院公為彩幸用送全一朱但年玉烟管二本之謝也云于山檢  
 將裁杉云二十二日丙午晴智妙房一出行彼所云力藏為土產  
 夜服葉云

移時供暖食云昨日愛宏山感德之配札信東贈御札小袂扇  
 乃見之供酒等如例年云令掃除書院之庭云順自川菱云  
 〇二十七日辛亥以穀居間先之植木云二十八日子子羊而午後  
 以第贈毒草云以飛脚云二十九日癸丑昨夜凡雨及曉而昨  
 作書東附明日以飛脚云二十九日癸丑昨夜凡雨及曉而昨  
 入浴之切紙午前至明日漸雲屋漸拜之旨也云諸江戶繪三十  
 日甲寅羊間役人未簪障子云蘇名寺未初妬于書院後信于居  
 御美者先至云四時頃候御入署彙緇出迎于例之所云御是付  
 屋御拜如例但至六街所之神徑無之而別有拜云後御目見



如制昆布三寶持奉平伏脚毒詞多於制去其後於亭是亦行  
尉公斷敏之時送之如制公孫名寺中食而去八時分福淨  
寺來送印之一九一束乃初見之法括移時  
贈假名抄一却貨因通債租生佛初三冊

四月

朔日乙酉定晴 江寺妙秀為長集寺先代年回卦于午結通  
之任職之細便令僧來告送子二日丙戌晴 贈竹露二介券以賀  
三奉入弱箱公自五六日前摸梅花書屋園三枚柳溪看泛因一  
請今日却落成公常寂院未人作等子酢飯而食公小進服  
毒散公以酒一介吞送力藏公三日丁亥晴 藤王後稟証寺五  
夜形部未返南紀姓生債中三日又貨扇画五六日鳴物停正  
連平回未真証寺取彩奔三枚公役所切做未未五日鳴物停正  
公以筆山画一帖貨于連平公役所切做未未五日鳴物停正  
寄免也公夜四日戊子晴 昨夏北臺所年用之梳公行妙房  
吉太郎來道 後舍脚宮神樂九月可執行之旨也  
公錯書于省田某贈金二百匹菓子一箱公也  
移摸抄雲裏亭城雙鳳蘭之圖畢乃竹溪之彩幸五日己丑晴

梅月手記

荷花至校  
己七八寸

剃髮公便常寂院十便所情斷毒奈之願公夜○六日庚  
移寫暮靄平林之因彩幸公入浴公智妙房手繪公  
寅晴乃公之菓子一箱公金勝院未餉公清一包是之茶公  
食而公淨福寺之七日辛卯晴 秋江部未送志和海者公移  
八日壬辰羊 誕生會法華懺法香門品竟云小五糸也章寂院  
話未九日癸巳雨 偈七房赴干役所及杏由竹公取荷香雜  
十日甲午雨 各役所切十二日丙申晴 其式如例公社已牌  
後慶安太平記公利髮公十一日己未而 昨夜未大智妙房  
姑之病公役所切十二日丙申晴 其式如例公社已牌  
琴經乃四州便草法一卷公公午後後藤尾達平未飯之日所  
之画乃四州便草法一卷公公午後後藤尾達平未飯之日所  
移幸一州公竹平未乞弘法大師助賜扇凡書了表鈿華之記  
公又貨便草法一卷公竹平未乞弘法大師助賜扇凡書了表鈿華之記











又貨征寺未及于切蓮並示清書入浴剪二枚十一日甲子羊  
 午後雨致習禪度大僧正病中具舞之書贈全二朱羊切画一  
 生荷葉二莖十二日乙丑凡雨觀經所會讀終分限帳之事以  
 東照宮別當料十石者二十五石載之而龍十三日丙寅雨  
 並別當料者不載之刑了夜未載正警記  
 曉前大雨午後雨致不霧義山行堂明云指道記會讀終分限帳之事以  
 贈假右抄一部觀正警記十四日丁卯雨料常寂院致老母回向  
 荒義及山和意行供加持守履札祈禱札干相間成梅厚之願事  
 不被聽○十五日戊辰雨以秋菽帖摸字為伊呂波之次亦  
 雪記十六日己巳晴已刻前書赴干役所相候書許後自  
 仕置之家而故公隱居舍之置七枚改行十七日庚午羊標若殿  
 行中添書之字不取回札於月番之改行十七日庚午羊標若殿  
 彼代拜西野惣石工門六年時浙社奉詣坐智妙房赴之不及往  
 分朝三册作辛者二百餘卷十八日辛未凡而赴干御社  
 國守御拜札公海家老之出勤通之平記畢十九日壬申  
 四時前御院公終自凡雨公考小供等熟慶安太  
 兩以買賤五枚奈良晒一及暮木一介木二篇二十日癸  
 酉羊入浴公明日國主御幸諸故令席○二十一日甲戌雪  
 四時前國主御幸諸干東照宮天王宮後少息而去二十二日  
 御家老御仕置之出仕無之公夜吉太所繫三平表二十二日  
 乙亥雪為佳藏之次男種次見新隱居所之障子公詞備  
 取首公夕食去公九葉公二十三日丙子晴幸盛院未為佛性寺  
 吉太郎末子之九葉公二十四日丁丑晴佳藏院未為佛性寺  
 日雅隱居舍之三國通覽及二十五日戊寅晴入浴二童帷子  
 山將採揚毒既無公二十五日戊寅晴入浴二童帷子  
 力爾末公常寂院無公二十五日戊寅晴入浴二童帷子

彼代拜西野惣石工門六年時浙社奉詣坐智妙房赴之不及往  
 分朝三册作辛者二百餘卷十八日辛未凡而赴干御社  
 國守御拜札公海家老之出勤通之平記畢十九日壬申  
 四時前御院公終自凡雨公考小供等熟慶安太  
 兩以買賤五枚奈良晒一及暮木一介木二篇二十日癸  
 酉羊入浴公明日國主御幸諸故令席○二十一日甲戌雪  
 四時前國主御幸諸干東照宮天王宮後少息而去二十二日  
 御家老御仕置之出仕無之公夜吉太所繫三平表二十二日  
 乙亥雪為佳藏之次男種次見新隱居所之障子公詞備  
 取首公夕食去公九葉公二十三日丙子晴幸盛院未為佛性寺  
 吉太郎末子之九葉公二十四日丁丑晴佳藏院未為佛性寺  
 日雅隱居舍之三國通覽及二十五日戊寅晴入浴二童帷子  
 山將採揚毒既無公二十五日戊寅晴入浴二童帷子  
 力爾末公常寂院無公二十五日戊寅晴入浴二童帷子



快晴自早朝之晴近日所無也四時前赴干街社修所本地供  
 同觀北吳江之畫十長生因之二十七日夜辰晴領王元章  
 飯寺後傳習卷之卷十卷十卷十卷十卷十卷十卷十卷十卷十  
 復和干脚社為乙佛採脚去拜也去亦行厨飯淨二十八日  
 福寺及義山佛茶酒後脚去拜也去亦行厨飯淨二十八日  
 辛巳陰風暮雨微雨自汗服葉之夜刑部未言再領二十九日  
 壬午陰之門習畫三枚入浴公買花火一朱務燒之

六月

朔日祭未晴 寫羊切墨梅一枚之卦于街社之法乘而石到  
 面領之或自甚詣拜廟江天火而燒 二日甲申晴川作致或部小  
 臨官而故暑甚夜不安公禱廟作花 三日乙酉晴寺夏  
 今日之飛脚云午後魚陳憲章新梢火而燒 三日乙酉晴寺夏  
 萃月回為田村代也公禱廟作花 三日乙酉晴寺夏  
 返物鶴雙壽園彩本並示其所寫公亦更貨周之墨花鳥圖及  
 荷香隨筆三州供夕食淨福寺東及南院生情乃再貨沈處

性生情華後與真証寺四日丙戌晴 朔以來晴暑甚公靜林  
 同去日設也之燒衣火公四日丙戌晴 朔以來晴暑甚公靜林  
 法華城法七之卷卷痛也公吉川助九再其具公於當寺之庭  
 上齋武公許之公喜字末公一吉川助九再其具公於當寺之庭  
 浴五日丁亥晴 人來影一收之午後土方羊三節之師并十餘  
 修祈禱故行所房起之入夜而故公於街社前神職者送吾身見  
 二日戊子晴 奎夫明玄象白讀之助之家幕後故表公即事見  
 未公常寂院末 七日己丑晴 晴昨朝霧一收公收公收公收公收  
 言下部不部事公 七日己丑晴 晴昨朝霧一收公收公收公收公收  
 日煮醬瓶之讀植村十吉家新絕之記公九州及蓮之詩画卷一  
 箴紙三枚乞蓮画公又貨之繪詞傳十九州及蓮之詩画卷一  
 箱公觀之夜當村公送八日庚午晴 公全路公甘脚公吉川  
 作之助為吉川公送八日庚午晴 公全路公甘脚公吉川  
 當村公觀之夜當村公送八日庚午晴 公全路公甘脚公吉川  
 院未公刺髮公以相模用之棧敷令極重院之庭考淳墨公  
 日街未公刺髮公以相模用之棧敷令極重院之庭考淳墨公



壬午正月分記

子柳今日初秋輝而十日壬辰晴吉謝助九節來送菓子一  
 子規尚盛啼所未覺八日壬辰晴吉謝助九節來送菓子一  
 便之去以大畢梅贈田村氏以早切墨毒之助復之三人共浴妙  
 園之去以全紙墨梅與朱屋八十八昨之助復之三人共浴妙  
 行前雨一過而亦霽長夕今日解么舍食十一日癸巳晴午梅  
 枚去賣與大白竹陰五第么十二日甲午晴午梅一枚  
 乃喉之去梅厚刑部十根列各微雨及瀟而州  
 故更貨江戶各所同部十根列各微雨及瀟而州  
 贈似十枚么寫梅一枚月已未寂無可暮前十四日丙甲晴先  
 畫并一卷然么序福寺致使返診綸僕蓮之卷因措借空花隨  
 華便附便么福見達四高送扇三本幹手蓋幹二更復役亭切人  
 去月九日斯去由也十五日丁酉晴晴書籍始入浴十六  
 作事鳴物停止之旨也十五日丁酉晴晴書籍始入浴十六  
 日戊戌陰盛花將食皆○十七日己亥雨昨常寂院致遣值千金

廿山

三雨乃佳漱往干故層衣么之切紙來十八日庚子昨通夜雨  
 希登約履之么故層衣么之切紙來十八日庚子昨通夜雨  
 後又雨又霽暮又雨午前三浦夏造未謝於慶丸之事刑部  
 力造素謝送古本箱么真証寺未返大原河各荷香雜武刑部  
 形幸又更冥墨梅畫二枚乃又貨札雜武茶能入夜而去署前  
 淨福寺末返空花隨筆乃又貨札雜武茶能入夜而去署前  
 十買真紙十九日辛丑晴刑役場切紙來制服之事么日署後下  
 夜早後下雷二十日壬寅晴殿前之洞畫壽去雙鶴因畢云晡後密  
 鳴大兩下雷二十日壬寅晴殿前之洞畫壽去雙鶴因畢云晡後密  
 香髮入浴二十一日癸卯晴院前大僧正月廿日書達習禪  
 刺髮入浴二十一日癸卯晴院前大僧正月廿日書達習禪  
 由也二十二日甲辰陰示蘭畫之清書么雨下院來二十三日  
 乙巳晴前作蘭之畫午奉五同傳五州故菓子一箱贈福見氏  
 己巳晴前作蘭之畫午奉五同傳五州故菓子一箱贈福見氏  
 貸一收少愈△二十四日丙午晴墨蘭小戲五收么○夜  
 貓之收少愈△二十四日丙午晴墨蘭小戲五收么○夜  
 冷昨收二十五日丁未陰寫雜識入浴么雨下二十六日戊申晴







火法界十五日丁午晴朝社比前也昨今兩日忽供膳于佛前  
 修施無不降云十六日戊辰晴時之助十七日己巳十八日庚  
 子羊二頭共遺于原屋令銀之雄貓兒之疾不愈故及給餉信王  
 冊及畫牛車又傳教經貨達平画牛車二通又賞画手車一  
 冊詞儀四冊大石氏專書監食而去此節城市疫病流行死  
 亡多矣十九日辛未年雜書不金完明流物二十日壬申  
 晴後雨六下別髮入浴云云二十一日亥酉晴冷院海台  
 高正月二十九日書到告札宋元書画午後將佳造平太等往  
 數幅賣物有之由云三里各三十許云于後山見其欲賣山之  
 界目悅次相從指示乃登于通夜二十二日甲戌而草鞋謝常  
 生蓮寺多頭拜不勤嚴而飯而下  
 院示二十三日乙亥晴便行妙為干糧屋及考田贈目錄為  
 廟画云及十八日之貨更貨竹彩年四夜云自慶屋取  
 刑了未及十四日所貨予亦及古事記備一冊云

二十四日丙子晴佳造錫家之子銀之即壽見此者為習學頂  
 之貓來寺寺極狂云二十五日丁丑晴後所切紙未孕石小右  
 草末雜計鴉數枚云  
 遺役脚受之申也云判髮云入浴云是日賣山人札用故拓靜  
 林寺常寂院來會云午後入札者共四十一人來集近暮不  
 同札并三番札也云是日賣七百五拾八分九厘也奉京寺村  
 久作者落札也云是日賣七百五拾八分九厘也奉京寺村  
 之寺云後初也云是日賣七百五拾八分九厘也奉京寺村  
 清右工門街仕置從蒙作是日由有花火由身每欲二十六日  
 成童兩切金光明流七之卷終又次云是日冷著翠長極野云終日  
 雨公絹切而賣与片地村又次云是日冷著翠長極野云終日  
 願事往于後所云少感菓二十七日日巳印晴雨了未貨云  
 未告未二日三日暮發院街十七日回忘之事云小時後將復造  
 時之即吉不昂平大昂小掉舟往干汲江觀燈火燄兩致下日  
 沒後飯自密初食二十八日庚辰晴夜雨至曉止山達章助  
 殿觀花水初食二十八日庚辰晴夜雨至曉止山達章助  
 川秋水海門和上書村常寂院智妙房平太本二十九日辛巳  
 明日之飛脚和雨下云常寂院智妙房平太本二十九日辛巳



雨後祈切紙第五藤代蒙仕置後淨福寺未賜妙糖一  
永債亦五卅修繕及暮晚食而去  
山蓄章即送早一孟公

八月

朔日壬午午晚晴藤藏贈山菓豚吾贈其蔬酒契是日百姓  
一升呈云不之日癸未暗太全吏明流到訓場罕令智妙佳祇  
暮而飯云蕭藏之屋敷地者云重如之屋地者悅次未言  
自古無復丈尺例公是故不換而似幸寂院未公午前作  
往日的画之夜三日甲申而上往生安集之奉流始之幸寂院  
歲數散衣夜三日甲申而上往生安集之奉流始之幸寂院

三月

合調猪口二品終日四日乙酉兩院等画公檢及竹溪吳峽  
本寺未送五日丙戌羊長泉寺諸興五事自昨夜至今日所  
梨寺未送五日丙戌羊長泉寺諸興五事自昨夜至今日所  
智妙未送五日丙戌羊長泉寺諸興五事自昨夜至今日所  
梨寺未送五日丙戌羊長泉寺諸興五事自昨夜至今日所

山

山

畫復清送三友師以竹洞着色蓮軸送竟城師以自画送四教  
院此因事相東芝院亦以竹洞羊切墨蓮悠山全能墨竹送干  
放支院以墨梅山川地福院伊來尚雪品考本坊等以古墨氣  
叶金嶺送干秋水等也致書望山吳峽等及粉等干吳峽竹  
溪等及都之章寂院持去不真証寺來及繪詞傳及粉等干吳峽竹  
部中相送伊年院好相行法月五日丁亥晴長泉寺去一終  
之書相送伊年院好相行法月五日丁亥晴長泉寺去一終  
修部三友院章寂院工之書月七日戊子晴以金五百延  
山蓄章以道栗孟省水新傳早七日戊子晴以金五百延  
致下章寂院取嘉祿午後赴干瀧本村觀於毘沙門堂之  
後有膏八九回二版而落公及之者茶少息而去持一官而後  
姓觀芭蕉堂是山中么兵工者在報后移時森川齋藏三廂  
夏藏以至萃信堂者一昨午所造也八日己丑微雨常寂院來  
近著而去森川者能踏席也  
三看賜去午後起妙尋等赴干彼孝寂院日没上程九日庚  
金初師專息持束所命之書棚之全知不天竟不定九日庚  
午子微雨秋氣怏命字而寫於利部未示其父野亭亭月上歌

此十五  
至十月







終此書未詳何人述作而由錄中所言知是武排今時之神儒  
其為人好兵講氣而涉學自立神武名目恐非其言  
不足評也曹國藩中之士四月初命書田某  
信此書說輕佛神者多者書成

九月

朔日壬寅晴 藤並社出勤 昨日夜二更時之助之家之使  
家公今日表常寂院先月十二日至九龍阻凡二日癸卯晴  
會讀後欲詣于金毘羅權現辰午後出寺作之助視造小者相  
從徑行大津詣拜鹿兒神社休于山下徑行十市濱詣于若戶社  
後憩于社也林下煮茶并中食日暮也佛京後八月三日之書  
觀岩洞或山出不田渡吸江飯日暮也佛京後八月三日之書  
芝居佳造平太即為飯三日甲辰晴 俊致佛京院書光圓  
二書屈見惠能涎香及塗香乃修報書并送唐筆剃四日乙巳  
日書屈見惠能涎香及塗香乃修報書并送唐筆剃四日乙巳  
于神武植衡薛之寫夜不微三會裝終血日丙午雨命今統

○

十五

初看裁部禪尼消息也自午前雨一過尋常平太蚊帳今止六日  
今日一宮志那袷奈也晡時雨一過尋常平太蚊帳今止六日  
丁未晴風 十疑命終五卅又袋錄內書七十難於移時晚食而去  
明日浴公夜剃髮之切紙末赤喜平末話於七日戊申午社出仕于街  
入浴公夜剃髮之切紙末赤喜平末話於七日戊申午社出仕于街  
示社頭月之歌公雅五卅食標夜子方為諸之延引申末八日己酉  
兩髮剃九日庚戌晴 東明頃出寺永固寺者不出公己之刻前脚  
目見相沫自是直赴于街社休息之間奈諸于八幡宮公看與  
令失飲公并行厨後法集公訪相間至矣通各直去訪稱各寺  
茶話是惠文茶院樣作除陰法會次亦之託公見供小飯強食  
一院拜慈覺大印街作除陰法會次亦之託公見供小飯強食  
開而寒公訪真如寺茶話去訪要法寺以病痛之由不見而去  
北風寒公訪真如寺茶話去訪要法寺以病痛之由不見而去  
是而病公訪真如寺茶話去訪要法寺以病痛之由不見而去  
所相持久之是也 十日辛亥晴 真証寺末遷移中食後夜二枚不  
祈淨福寺逢元不赴入浴公願之事五之方供奉中謝



胃分先

十一日壬子晴 宿妙房赴于脚社為佳造禳造赴十二日亥丑  
 雨行妙房出仕于脚社為佳造禳造赴十三日甲寅雨 已到後需分剃髮  
 護札加持修如持修但勤供後十四日乙卯晴 仕妙房脚社出  
 為佐例守復札加持修不勤供後十四日乙卯晴 仕妙房脚社出  
 大鼓之十五日丙辰羊 宿妙房出仕于脚社為佳造禳造赴十六日  
 丁巳晴 一散林寺於話人奉神神集如朝書二座分讀誦法萃  
 加賀守役之有路不吾入不調行妙房剃髮九半頃夕座法乘八  
 夜調神集事修本天宮供靜林寺行妙房心至三卷心誦心至  
 夜暮細三緒他自時取筆 十七日戊午曇 福壽庵師資為  
 日暮細三緒他自時取筆 十七日戊午曇 福壽庵師資為  
 予著純色大噴博談六般若經繞於脚社各十五聯主斗參拜  
 卷核利乘次六天王宮同坐也於脚社所之法乘前後心經三  
 卷也此間西風急公還行先天王宮法乘如初次脚社各乘三

後徒目付換板么么級中級么梅原西家逸酒二并是天王宮  
 祭禮之例候也么么左之脚原之脚喜平等來資么實藏未見么  
 日沒後諸拜于天王宮夜宮祭奉謂自今朝腹中不平 十八日  
 己未晴 國君御代拜西野物石工門五時後在詣予著素額五  
 之折點札後日脚社後時於書院与靜林寺酒話么夜教訓於  
 智妙房么昨日脚社後時於書院与靜林寺酒話么夜教訓於  
 ○事么十九日寅甲晴 脚社智妙房出仕于脚社為佳造禳造赴  
 但之資配分于末寺之事么智妙房告廿六日神幸之時 預責  
 當年博光箇三十換了二十張之旨有下知么午後覺么木代  
 之內全二十日幸雨 辰時後肩輿出仕于脚社智妙房行妙但  
 七路芝至而後下手續一之卷中食後讀五之卷而去么行  
 入於京師作書及具乘寺書道么脚社強 二十一日壬戌晴 臨大  
 後御代拜西野太夫參詣于天王宮脚社為佳造禳造赴八之卷靜



五月廿九日

林寺... 夜王... 就二十三日... 脚拜... 者所... 地供... 時借... 智妙... 五日... 射場... 撰校...

淨

十月

病未... 中... 過... 行... 普... 而... 等... 之... 價... 佳... 朔日... 朔日... 朔日... 朔日...







尺于一座而作解人九人公初更後是散之馬淵以送菓子一  
 箱之毒常刑了透何端一宜燕又一宜雙頭菓子二宜公殺亭  
 內談文希茂御一周忌五月二十二日辛卯晴一以至百匹小箱  
 御執行之事公夜暗凡真公  
 盤于梅原刑部又送別詩馬首向東山又山兀霜曉度立川國  
 此行到惠澤無碑不日也看衣錦還公平太母事作夜被公自  
 京却之船荷物着岸之中故使人取來之自小川所教書物繪  
 詞情翼贊一部曼陀羅搜玄鈔勢而往生情神皇正統同續篇  
 扶桑畧記古今著詞集新集無孔笛高田正流備玉勝同  
 之三篇出定後始明德記俳諧七部集美和書等三十二部也  
 送曉昆布一袋公暮時往于毒常之家慶上京入夜二十三日壬辰  
 請借棧敷公暮時往于毒常之家慶上京入夜二十三日壬辰  
 令新易居間之暹為之晝間居于恩居所云二十四日祭已晴  
 午後刑了末告別公晝後三兩官造末話云  
 十六日分於之時之助之家因令買調飯茶核二十人前其價二  
 二十五日甲午晴夜護寺末飲茶吞茶核四十人食之木牌  
 輝二十六日乙未陰院明德記一見飲公未時已後而降公常寂  
 院七日之書到告曼陀羅末成就故中將

後而下國等之哥公是日常寂院二十七日丙申晴續甲胃製  
 院等下暮之日也而不暮公○髮利  
 後宮他神序末交易棋品各所記四美公腹之病愈二十八日  
 更初縮鋪屋成公居間置成公一昨日收例之紙公  
 丁酉晴二十九日戌戌雨自彼所取立川國契末公  
 庚戌晴便蒼頭万造赴于護品丸魯蓋為全飯迎又之者也  
 入浴公夜初更後常寂院長樂寺  
 式了中將飯着公卿二頭末公

稍月

朔日辛或晴後陰  
 如左併常院書并帽子一沈香放先院書及烟官三双三光院  
 書並新到尊祖儀一卅東袋五十密處院尊祖儀一卅并同教  
 茂書並帶地一岡竟院書魚山觀心院僧正書並法泉院遺物  
 之帶地茶服紗祿歌蓮成茂書並爪室公善光院任職吹聽書  
 並帶地一本各勝妙房智尚人七蓮花院昌善任職吹聽之書  
 並花布一扇二公妙品相可降光院書並茶二袋大津屋武公



書並歸皮二十表四章三書書大倉堂山書並書至三四  
 竟城院書之樹下所收守書至新對海仙離賸九歌因本一  
 斗藤直近彩本三四枚更執前也之幸寂院者土產呈菓子一  
 箱長皇寺呈菓子一箱扇子二之未時後排詣社中表川寺田  
 及寫田養七松寄儀之 equal 在華身下茶亭會入夜後  
 此社中雜物至二更前方散去之與部談信及夜半就眠  
 二日壬子晴凡表白三日癸丑陰寒同好干舞之同角部  
 以商大般一矣為祈代木号全公四日甲寅陰長集寺去之傳祖  
 終△五日乙卯晴宮地神齊未飲名所同四州更貨和泉各所  
 入浴終時去六日丙辰雨石梅原陸奧及孫女供茶菓債新著  
 七日丁巳晴候馭之助言畢之靜林有未貨之身屋燥一部  
 候所切八日戊午晴常寂院未之之色衣血烈之已時前志干  
 至于後所相待時許午鐘鳴後尾池未干控丸是交余旨道書  
 昇又恭院樣街年忌之街尊師並街位牌文字執筆之事也

尋証判以九月御神行之時自介隨身人數之事而果知智妙  
 房之詐不飲路過于竟來院持火師年行厨而在坊宮地神并  
 茶話而去止箱妙房律干役所之九日己未羊行妙房出仕  
 脈頭痛之藥湯之米湯之切命來之九日己未羊行妙房出仕  
 館某女涉參詣也之判髮之京都丹家之短尺〇十日夜中晴  
 九月四日之遊是迄三余及滋野丹家之短尺〇十日夜中晴  
 河采姬五時街社參詣故智妙房出仕已時前自分出仕四半  
 比國君法拜之飲院中食之修致秋水書之取吾逐甘落及空  
 相浴云恭院樣十一日辛酉晴修復蓮華院善光院寺書之寫  
 入浴位牌板本十一日辛酉晴修復蓮華院善光院寺書之寫  
 藏東云祭句十二日壬戌晴田所左之助來彫脚位牌之附明  
 之解之〇〇〇十二日壬戌晴田所左之助來彫脚位牌之附明  
 西坂兩村卷文二通曼陀羅積書魚山觀心院僧正竟城院三  
 先院放光院樹下所波守次蓮花院善光院右兩院送金百匹  
 宛次相句降支院送金五十匹十三日癸亥晴嘉造赴干某  
 買帶地三節鴨木綿二匹之十三日癸亥晴嘉造赴干某  
 母与佳造想去之菓子二之須澄寺來乞借稟高便貸之  
 昨前藤尾連平來惠步塾產之茶二品茶花夕飯而去幸寂  
 院昨益裁水仙花之十四日甲子晴入浴之十五日乙丑晴

院昨益裁水仙花之十四日甲子晴入浴之十五日乙丑晴



寒如社步仕智妙房也政五部標及於甄遊希者不所宮祭禮  
 造前夜半頃飯末云十六日西雲暗十三日之飛脚今日祭足  
 宰相致書並白檀香五箱云小川致書並國枝因一部及所命  
 容者病利記素人狂言云切形醫者凡厥解等十五叫云勢命  
 西末寺板右注入之山家奉法孝經一部見寄附于番山奉自  
 竟成茂見送致云其外時計星民布黑豆等也公比日服頭痛  
 之葦地福茂送云十七日丁卯晴寒強掛自鳴磬云海官法身  
 陽云詩二首云云十八日戊辰晴十九日己巳晴大昌院  
 勤毘沙門及新朝例也云云二十日山王元三大師之軸修理之而  
 去云常寂院末呈云十八日戊辰晴十九日己巳晴大昌院  
 酒卷云寶眼院三州十八日戊辰晴十九日己巳晴大昌院  
 月也云午後靜林寺常寂院末便相与商量山木賣銀之內六  
 奠目弱為竟城院再興利云云以一貫目為靜林寺不勤堂再  
 建科以五百五十目為常寂院本堂依理料云云以二百目与佳  
 造以三十日与平太郎以十五夕与智妙房云云續古今著別集  
 畢云二十日庚午晴寒刺髮入浴云聽土方羊三高病疾之由也

夜為二十一日辛未寒甚佳造行妙房往于廣益但末二十三  
 花合云二十一日辛未寒甚佳造行妙房往于廣益但末二十三  
 日壬申晴寒貨大尖普照集而叙往生傳于餅表裝成云二十  
 三日癸酉晴昨夜作冰豆餅云神亦未及和泉各祈回又貸之  
 記一覽二十四日甲戌晴寒少弱云靜林寺常寂院末天台會  
 恭院楨馬牌落成自致亭致之云常福寺末区内郎書教州  
 茶后之飯晚食相俱少干城下薄幕也往于瀨戶學長泉寺暫  
 休雨下刻頃長泉寺為尊到于真宗寺蓋西本願寺使僧頃日  
 末于此為法能乃隔間聽之而去知妙房法妙房相食云秀下  
 刻頃飯二十五日乙亥云冰不凍云淨福寺後之乃附之連懷抄  
 寺云  
 不得小寒之到入二十六日丙子羊脚社出仕云并行厨後初訪  
 月吟糖住于青竟寺而今任持者自竟福院移任也云送線香  
 一把茶話明刻而去云竟泉院阿弥陀尊並土砂壺船回而到  
 〇二十七日丁丑雨繁三年餉仰查古煮云佳造之孫女二十



八月廿九

八日戊寅雨夜晴 讀親書上正人統備終之調諸法則數百卷  
之常牧院言社事二十九日巳卯晴昨夜雪布屋頭不從亭  
樂人扶持不願之事 二十九日巳卯晴昨夜雪布屋頭不從亭  
君溪山十月廿四日午去依之二日迄鳴物停止之旨也  
所失念佛各集得之公長集寺未夜能云風寒之種造為看  
家三十日庚辰晴寒 常寂院收八錢四貫目之証文公高園村  
浴寺真塔寺未話云佳造之  
孫女初更前余終云

十二月

朔日辛巳晴寒 伊勢守未話云停止中故而社神事無之自  
用之方也云買長持一持入之寫田力藏 二日壬午晴長樂寺  
諸社令藏于庫裏並作目錄今今朝入妻 常寂院未與之古三緒  
五切命來云 三日癸未陰 佳藏出蓋 常寂院未與之古三緒  
師繪洞傳 四日甲申雨暖 風雨行妙房卦 五日乙酉雨 暖如春  
一部云

十分終

霜降

八月廿九

後霧之新髮之福聚院贈蓋 六日雨戌晴 浴七日丁亥晴 將常  
真証寺未話云 美於二雲 六日雨戌晴 浴七日丁亥晴 將常  
降名房亦赴干長泉寺聽於西本觀寺便僧報恩寺之法於然  
妙房先行昇真証寺為尊末既夕飯河漏子云常寂院降名房行  
由長泉寺之指回先往下遍照寺休息成刻後到干長泉寺聽  
法就後別于降福寺真証寺八日戌子晴 福造故未之肺前  
而去三更前也云買蓋美八斗 八日戌子晴 福造故未之肺前  
自長壽藏如例取收青條一折 九日己丑雨 常寂院 十日庚  
原十帖三性中折十性隔能十折 九日己丑雨 常寂院 十日庚  
原雨 造伐不代金諸押帳公就相間氏之一周忌為拜香智妙  
十一日辛卯晴 常寂院之墓降名房從之入浴云 十二日壬  
辰十三日癸巳 獲成云 十四日甲午陰 末之借駕箒看板等  
昨日返今日淺倉集寺末立乞借看板並否羽云一昨日自秋  
吾十藏藤藏呈於寺頭後知之田取之間數真物之帳並紋等  
自考親拜地刻之間數場外之帳入 十五日乙未晴 御官法樂  
是七月中所余再三從而與成云 浴十五日乙未晴 御官法樂











霜月十九

河當

霜月廿

出仕之夢村歌者未見田所左之助未見日暮為福引會內外  
 四日祈禱之寺午後試筆作書画日暮為福引會內外  
 二田只二人也以其一姓家子梅原所多免三日壬子晴修護  
 前田中田次郎大工菅屋左官市島具五午後素絹玉茶姓干  
 壹第院法集觀有隆一英公拈籤得五十八番公詣能野晴川  
 社過靜林寺贈紙如例雜煮居慈吸物厨如例  
 午後雲天多暖氣也幸後院智妙房等處後  
 晴剃髮午後著壹衣五條詣干妙見社乃與之基所飯路  
 淨各房智妙房相從後于幸寂院等所次拜本堂一茶后而去  
 菓子一箱長集寺末贈酒秀五黑砂糖一介入夜後入浴  
 五日甲寅晴素絹五左指貫束雲掛干國主龍將入門時辰  
 如寺後谷寺在先干已時後御目見毘布御盃尋御有器干次  
 也次回禮五六軒之役人至干所社炊屋年十食改並須將  
 也賀相回禮五六軒之役人至干所社炊屋年十食改並須將  
 雨故不往干稱谷寺而去八年前也取歌留  
 參考保之物諸候等長集寺等夜取歌留  
 下徹夜不歇六日

青月十九

〇

學堂在七月至

〇

乙卯雨暖氣大發遠於火滅於衣背裝於葉袋  
 茶寺長集寺七日丙辰雨辰牌後需干御社智妙房出社  
 伊字寺等語  
 袋紙八月丁己丙寅院言行妙房之強情事干實指德錄  
 可治物九日戊午晴剃髮干薪翻屋柱立成干夜儀兵衛諸干幸寂  
 禱由干問時之助十日己未陰保建大觀干法明房干常寂  
 禱造教不復事干十一日己未陰保建大觀干法明房干常寂  
 院等作祈禱札干夜問干作之助法妙房及行妙房干十一日  
 折節禱之始末而教誠干行妙房干禱造不行之疑障干十一日  
 原拜晴凡未禱能清香滿室干燈觀干師索始干驚干大工恭作  
 供河漏子干段內上下言四十二厄適之祝也干馬干十二日  
 常寂院行妙房干禱妙平干再諾願造事知無其事干十二日  
 辛酉雨未更干載以丸菓干兩童干以酒二斤券送券作干令長門  
 各房亦磨時干十三日壬戌羊晴風使作之祈禱干植間代告  
 快月蔭和周干



之旨為彼使未致酒五并昆亦二奉三修如意滿供加持守後  
 一節公竹平事更相送何屬子五作葉袋十四日奈交陸御社  
 行妙房出仕因致神禱札于相間代公衙官奈出仕公作葉袋  
 五枚萬曆紙六枚身頃頃吉未則年未裝之事交付竹洞山水等  
 入奉為年玉是露扇一箱至五十四天王宮所初德至雨也公  
 供之即預齋煮吸物及酒敬茶葉等雜語移時去公婦所社  
 所奉十六日乙丑晴自京師柳技軒致所奉之書致部所社  
 推邪真返記秋亦因莊集美外書等四十二部也藏標新公嘉  
 以至山寺一重贈干相間白公村童捕蓬池鮑禁之故捕公令  
 是敬善公十七日丙寅雨政五良樣海社參詣放辰之下刻來

十八日丁卯晴辰時乘輿赴御社四時國主拜禮帽于直  
 于普門品和贊與先云一計五茶葉引也公八頃飲淡造葉袋  
 法今朝刻壞公禱十九日戊辰晴作葉袋公令道養魚大桶  
 造感肩故子葉公禱△十九日戊辰晴作葉袋公令道養魚大桶  
 為近日有街法會也入浴公只要單二十日己未羊刻髮  
 欄間代是餉餉飽一重公坑大奈止現口二十日己未羊刻髮  
 方來更分步事用諸道具公舍拆除於隱堂及二十一日本庚午  
 茶亭君土居助六子喜左門弟具一恭話而去  
 雨國君脚奉宮四時前濟入也着葉絹五余步迎創之所御着  
 坐之舞拜竭獻昆布之三方中買而退上下于宮公國君者  
 御裝束也海宮海門於靜林寺也所家老脚仕置街目付之如例  
 出也午後而止公海作事方是方公昨書報我二十二日辛未  
 小細工方未作內二人者止宿公自昨書報我二十二日辛未  
 暗五羊頭奈妻赴干脚奉行樂內下終殿之宅下終殿是蓮又  
 恭殿操一周忌導師余之有公往干役所而塗別公而去







坐也三卷終休息陽慶出五卷終後非時食出計時予著  
壽領五卷為面言字食性三卷終後非時食出計時予著  
此時即定奉行並諺判抄教也予未欲食故只著坐耳  
退去招十集寺初相是華產時其人能辨月日與  
息有湯饋予不在之內登之助也言宗食時時  
所奉行五藤主計山內登之助也言宗食時時  
初食發三十一日己卯晴也今日後始行時時  
台宗後之寺法會終頃國主所入也撤經利等後國主所拜也  
是時與僧列坐于西之間國主所入也撤經利等後國主所拜也  
妙尋子言家之僧行之置於書院是行所布施殿榜於有五  
板也寺未刻前考集經于所書行所任置之而家內匠殿也  
告師法會與誰結願之音而去今日出仕家老者下德織部  
行宗桃除出仕故面徑之香而三將兩不下桃花將矣庭之金襴雨  
晴後小知方八百屋等去三將兩不下桃花將矣庭之金襴雨

二月

朔日辰辰晴己刻前赴于所社神奉如創下刻過大炊標所  
夜宿權規而故寺與章寂流長集寺並華寺村內土橋新造著  
獨願未喜樵奎二百匹乾火動奈靜林寺遠三厨常表流是  
酒公暮前火鎮奈密僧八口各舖心全百是許二日辛巳晴  
梅厚修撰本末妙例故酒飯市中彼岸櫻已用二日辛巳晴  
使法妙房時之助採土筆公午後詣干寺之端橋荷之社詣干  
五臺山訪方丈踏菓子一箱十茶話初是彼堂宇而去初訪  
長嘯月菴踏香一箱茶話到而去彼菴頃日新造於寺堂  
改菴為寺之日暮後飯院淨各智妙禪庭時之助相從於柴田  
職部致為奉行織切紙系各返守中真証寺物三日壬午晴佳  
所時之助慶告房內之事公返守中真証寺物三日壬午晴佳  
往干井之尻公青每高人未乃買之一把九孔公神亦系  
訪科各寺贈壽福一箱一茶作而去拜於天神社訪亦如寺  
三車入通若而去訪要寺踏扇子二車一茶作而去自藤  
造取相子九十余以二十尖踏靜林寺堂表寺板厚伏公小  
血出之昨後四日奈未雨真証寺未話不獲進与智妙房  
樓苗干下畝四日奈未雨真証寺未話不獲進与智妙房  
摩時計五日甲申晴凡房詣干橋荷社公利髮公行妙房  
磨時計五日甲申晴凡房詣干橋荷社公利髮公行妙房



○

♀

入浴○幸六日乙酉晴  
 涉於神亦為遊海廣舟舟下川然北凡強  
 砂亦中食此山櫻臨用最可貴觀之夕待凡之息而兀強  
 不河舟故留抄呼于舟專者回於片出五曼山之南至吸江強  
 渡口曼時漸于水減七分每渡僅二十回許然兀急舟為底  
 西汀水成舟不著故入水步步四五間又行泥中致十回洗  
 著鞋諸下指荷社而去分神亦飲院時之脚之父健之進著通  
 藏相從之助午前飲未之讀不可會亦強有今日  
 教寢草二冊之七日丙戌晴  
 禮藏感骨子集之  
 于勝浦濱入夜後飯未之幸寂院未任之書之  
 昨夜自采屋八十八種飯未之修佛余院之  
 太禪造採出華之修致佛書及小川書統又修山和之  
 院轉住吟聽之必書並醫金百匹之降名房之幸寂院之  
 官觀於神事舞之自采台書九日戊子晴  
 西院見達昨十月名伐網書  
 院探脚奔式之馬則之寫之佳造昨夜飯未之複造往未干  
 公淨福寺未送黑砂糖一斤報於後時此夕飲至隔著而去貨  
 不可會亦強會亦之降福寺致假若抄之付在○十日己丑  
 百匹之有痔之氣故相服神中益元陽之精赤解之

山

晴午後遊于後山登於昨冬伐本運送之路出入正蓮寺原煮  
 茶喫之飯路是於藤檝之家後我攝札而飯之入浴之致者  
 送十一日序重與金三歩于時之助故彼持往于家送江戶  
 于問於重左工門父子之事之配与下取之柙橋等之櫻盛用  
 于常寂院佳造低兵工之書於教部之州脚記之隱居家前發  
 三夜矣十二日辛卯晴  
 出今朝政五部攝所參詣于斷社智妙房出  
 蓮池之魚養于桶  
 十三日壬辰雨  
 朝雷鳴之續菅家世景錄三  
 夜矣十三日壬辰雨  
 州唯稱安之心鏡二冊之降名

三

山

靜林寺表示万字之書之因言幸寂院留於室右門之出入  
 下而十五日甲午晴  
 荆駿之己牌前大學樣天玉宮海宮御林  
 法遺教短之靜林寺帝寂院步在之社行妙房出仕之禪造  
 經于市買刀價七十月四四十月者与之社行妙房出仕之禪造



旱之茶亭西之十六日乙未晴寒續烟囊及屏邪訓疏

七日丙申晴知如法祭禮如例于廟寂院飯於新著同集十八

日丁酉晴未讀紅印反啞割畢五枚及廟子二幸通名而去西凡

急雷鳴而下草頂而歇十九日戊戌晴欲游于廟戶招於神

獵涉名併明辱制出公十九日戊戌晴欲游于廟戶招於神

是日寬邦院採擇日也故止公神齊東莊午後與伴而飯

而行妙房未赴下山採茶公飯路過於西毒藥之庭而飯

日本番及長安高末二十日己亥晴載之公荆髮公雅五言

于常寂院公役所切常二十日己亥晴載之公荆髮公雅五言

樣揭匾于脚社修繕落成公書戶棚錠成二十一

入浴公蓮池修理落成公書戶棚錠成二十一

前國主脚宮天王宮脚拜後脚入脚休息脚飯之筭如例送之

但今般者自此寫神明直脚奉故脚先脚仕置同時入果故余

不得務致之暇公午後與伴及殿內一及殿吾十脚役知之內各

於琢吾所唱拜頌地之內一及殿吾十脚役知之內各

箇公坐草煮茶後晴飯院公神拜二十二日辛丑陰風味近山雨

末不見貨之新著同集公栽蓮苗二十二日辛丑陰風味近山雨

于此公降名儀兵工狂于學買公凡二十三日子堂雨昨夜

急備復公儀兵工狂于學買公凡二十三日子堂雨昨夜

未風雨急也是日雅五良操脚言是請之所凡而故延引公二

午後雨止東風為西凡水漲干田小思等余舟泛于田公二

十四日癸卯幸寂院公入浴公火廿五日甲辰晴於脚社修於

障安全之祈禱已時起于彼讀誦仁王經一部此同証判後一

人著坐公祝言神樂如例公中食後讀普門品三卷公訪淨福

寺贈錦香一箱扇二極茶話移時而去于幸寂院公廿六日乙

巳晴四時赴于脚社修地修塔等公令公白蓮根于新木村之

之助島田廿七日丙午雨成小食後乘輿赴于脚社然因主脚拜

日之書達告竟城院正月十八日晚七時命失惠心院三光院

正月十五日常書謝建奎二步于老母公因教院年頭書是建葉

物一包公蓮花院同建蘭花園一包蓮成院年頭書是建葉

切帝末公儀觸書之寫覆面頭巾禁制之事也二十八日丁未

並明日脚社脚拜之者申末公修報佛身度書二十八日丁未



粵後劫于御社四時因君御拜是所奏駕前之御拜也故寺入  
 十六日杉村後造昌明出勤是日先々住貫典七回忌速衣  
 也但先月正臺之所由故摩今月執行之靜持寺家院來  
 長乘寺申病所不來不晴前修行常行三昧後相但與非時食  
 并送金百匹侶毫城院之 二十九日戊申羊 七周忌當日法  
 重前為書卷之今朝刻殿 三十日己酉晴 汝舟神  
 今番初行施物于末寺三人之壯丹 三十日己酉晴 汝舟神  
 干種寄上陸經街通到律口余舟至干庵戶於此擊舟中衣  
 上陸將律干藤浦濱時雨未故入干日向之家待一茶根不  
 亦故故于舟及稍微雨少舟而尋上高舟岸山及龍宮山上陸  
 比當橋而故舟是烟干與山令人走是之別境塵也  
 三月  
 朔日庚戌晴 所宮奉式當日及三日分二座執行三次赴干所  
 社執行二座奉式而故舟是烟干與山令人走是之別境塵也

以小杉原一乘家与九人々晴時前淨福寺表返陸倉并五州  
 是示道信和尙行業完二册之供晚食雜話近夜二更而去  
 二日辛亥晴 淨名房与章我院赴干長乘寺後藏徒之片福  
 爰下向看府之差人役取新若別集梧意侵華歸餅一言讀字  
 日辛酉地等之藤造十册各歸菽之力造侵年之母各之信行  
 業記 三日壬子晴 智妙房法妙房指于嚴平毘沙門天之力概  
 佳藏經干平輪論之 四日癸丑晴 以寫木掉一及家之時禪  
 買木綿之清異部宗之 二堂之午後入浴之時禪  
 厚之家贈菓子一箱良師一袋陸奧寺者不在伊豆寺於行是  
 酒香之但見示去冬新調之甚末太刀雜作移時而去之靜林  
 寺幸寂院等 五日甲寅晴 午後登臨干鶴之森行妙房禪相  
 自午結飯來 〇六日乙卯晴 洗勝之豐中尼日讀創時之常寂院  
 相見去之 〇六日乙卯晴 洗勝之豐中尼日讀創時之常寂院  
 曼荼羅供之申之以上凡呂布一酒二并若餞干爲田力藏  
 智妙房遣干五基之行妙房遣干幸通寺之徒干竟來院用眼  
 於修理除陀尊之諸費中之養子有之真証寺話實之切  
 紙末三条殿息女數姬是爲國主之養子有之真証寺話實之切



彩幸三日看極苗七日丙辰陰相良忠吾未贈小松二末是貸  
 八史畧四卅是代所貸地茶詔移時而去去午後兀雨至夜  
 不息公常寂後未之切紙未真村十年次今日是奉仕益後  
 八日丁巳晴以酒二竹券扇二本昆布一袋驢于相良氏僕平  
 見送扇子一箱五十匹送于毒原令祈伐木安至入浴公降  
 之所念公以金五十匹送于毒原令祈伐木安至入浴公降  
 名房幾藏自午緒飯未但遊于九日戊午晴力職未告別  
 東寺室律迎公貨齋鼓于熾通寺九日戊午晴力職未告別  
 十二日之事公梅原伊豆守未故於讀幸二部陰隆錄一卅  
 國守奈駕如例出干馬場前寂之次降世山內中勢殿是五如  
 例送之公是時日已以公故呵令去十日己未晴佳造謝禎  
 午後禮造組干力藏之家夜半前飯未十一日己未晴佳造謝禎  
 聰之公午後道干北山降名房金毘羅社十一日庚申午晴  
 相從公定造自干山買膳未去後平指干雨十一日庚申午晴  
 儀平飯會公洗膳之午後降名房智妙行妙指干十二日辛  
 常通寺法會公洗膳之午後降名房智妙行妙指干十二日辛  
 酉晴同陸真守為林於岸通寺之法唐己時降步寺先列干降  
 福寺蓋善約故也所易之弘誓寺頃日為訓尊室此乃相

是西尾寺次至即相列干幸通寺先觀於寺中布置盆石書  
 画等而列干法仙寺休息相待稍久而行射午時後降會加始  
 度儀曼供也公九方便之時退出小休法仙寺而去別路淨極  
 寺等而飯申下刻也公九方便之時退出小休法仙寺而去別路淨極  
 十三日壬戌晴任國寺贈末扇一箱酒二介香公執醋牡犴干  
 買午叔本符一及十四日癸亥晴為復存圓之料公仲產兒乃  
 及折釘八本公送及未公常寂院末東照官假所竹圍之事公太厚末  
 遺於儀藏干市及表見所之幹公入浴公晡後凡而雷鳴公吉  
 伊豆守末貨之讀本十五日甲子晴婚社智妙房公勤社共教  
 二部公華美之幹公十五日甲子晴婚社智妙房公勤社共教  
 事如例公早中食後為五臺山結緣灌頂劫之先往干中之坊  
 休息久之刻干方丈改著七條淨衣入通場爰三味戒入內通  
 揚投奉美結雙而此室茂律師為引入所普門律師為授  
 戒師奉月菴律師為清頂師公以金二十五匹供香和公申時  
 飯後法妙房儀年相從公十六日乙丑晴早復藏因和用往干上  
 山齋十即送竹之子公十六日乙丑晴早復藏因和用往干上  
 琢吾命家督公午後將法妙房儀載時之即竹之子而飯公今  
 遊干山登干青蓮寺之山頂煮茶煥公眺望而下採腹蒸及以



朝如月明十七日丙寅  
 死室之屋頭云十八日丁卯  
 自前而降云十八日丁卯  
 與淨名寺十九日戊辰  
 團喜四回十九日戊辰  
 荃行二十日己巳  
 牛雨終日午後龍城師所囑之戒經兩日暮與淨名寺二十一  
 雨風雨常寂院等末團基止大漲二十三  
 髮原末團基入二十四日癸酉  
 見彼知分之場及以琢吾引導之役所御觸末團基  
 入浴云梅原末團基云淨名寺等日暮飯末事百石之中  
 石二十五日甲戌晴院智妙房出社  
 并行厨而去訪於尾戶竟福院逢亡而飯子  
 淨名寺團基云自暮時而降  
 二十六日乙

秀陰辰時東興於御社國主代林林傳助奉詣御神奉  
 行厨而後飯云自常寂院降入夜  
 備記者因集之飯於學信初尚大標令余之由乃附使人致  
 之云二十八日丁丑晴直去寺末送扇子一箱菓子一箱通  
 頃刻而去二十九日戊寅暗  
 與淨名寺團基云二十九日戊寅暗  
 入浴云昨午後自東街館見送反神  
 綱日己卯晴御宮神奉如例畢後赴御社神奉如例後行  
 於鏡福院贈白檀香一箱茶話云間糖本草之事且下于庭觀  
 草花數十品近明而去今日大工茶作末作留守中極原  
 末淨二日庚辰陰午後梅原寺三浦末團基云大上作手水  
 若房基











基年請五筆昨敬  
 二十七日乙巳雨  
 橫寫雲林山水一  
 枚權衡錄三州  
 名刻髮與  
 二十八日丙午晴  
 神外伴朝匠來  
 造什具瀨  
 房圍基自三四  
 二十九日丁未晴  
 午後藤尾連平  
 未示自寫  
 日前張收帳  
 三十日戊申雨  
 俄年之母來  
 縫復師開入  
 浴  
 神麻仔碎  
 牙

五月

朔日己酉晴  
 新宮奉祀後  
 節午街社  
 奉飯步行  
 尉高階左  
 福院  
 次至少之難  
 已過明  
 今日淨福寺  
 小殿  
 荷花數十  
 至少  
 時  
 二日庚戌晴  
 以蒼布一扇  
 二奉菓子  
 一箱  
 送高階左  
 太師院  
 月晦日之書  
 連言  
 拜殿院  
 三月十日  
 癸狂  
 致十川  
 勘丈帳  
 河竟師年始  
 收  
 是送  
 萬全丹  
 一包  
 寫竹  
 同  
 畫  
 竹  
 林  
 山  
 水  
 圖  
 酒  
 彩  
 年  
 收  
 送  
 原  
 之  
 助  
 方  
 裁  
 別  
 一  
 三日  
 辛  
 亥  
 晴  
 令  
 除  
 荷  
 池  
 之  
 草

末通名而去  
 常寂院  
 惠早  
 松茸  
 三枚  
 為宮崎  
 是竟  
 寫富  
 在  
 末  
 四日壬子雨  
 寫葡萄  
 五持莊  
 子二之  
 卷  
 露頂  
 因  
 伊豆  
 寺  
 時  
 助  
 藤  
 送  
 自  
 然  
 生  
 之  
 楊  
 枝  
 賣  
 末  
 實  
 之  
 一  
 合  
 十  
 又  
 時  
 助  
 藤  
 送  
 自  
 然  
 生  
 之  
 楊  
 枝  
 賣  
 末  
 實  
 之  
 一  
 合  
 十  
 又  
 時  
 助  
 藤  
 送  
 自  
 然  
 生  
 之  
 楊  
 枝  
 賣  
 末  
 實  
 之  
 一  
 合  
 十  
 又  
 時  
 助  
 藤  
 送  
 自  
 然  
 生  
 之  
 楊  
 枝  
 賣  
 末  
 實  
 之  
 一  
 合  
 十  
 又

入只洗  
 杷  
 以  
 藤  
 造  
 十  
 助  
 花  
 十日  
 戊  
 午  
 年  
 寺  
 末  
 住  
 供  
 殿  
 飯  
 推  
 入  
 只  
 洗  
 杷  
 以  
 藤  
 造  
 十  
 助  
 花  
 十日  
 戊  
 午  
 年  
 寺  
 末  
 住  
 供  
 殿  
 飯  
 推  
 入  
 只  
 洗  
 杷  
 以  
 藤  
 造  
 十  
 助  
 花  
 十日  
 戊  
 午  
 年  
 寺  
 末  
 住  
 供  
 殿  
 飯  
 推







九月

八月

團碁 儀平毒原見示江戸早降 二十六日甲戌雨 千本寺社  
 諸干文殊 奉行之申河 晡後雨  
 修在池供加持 卍 飯後中食 寺 葺蘭 二枚成 竹 平末飯  
 訓蒙 備會又貸大芝 善照及 高持 庫 寺 寺 房 碁 寺 真 証 寺  
 未及 蒲 菊 苗 又 貸 芝 葺 蘭 三 枚 寺 連 平 使 末 致 枚 寺 〇 二 十 七  
 遠望 霜 菊 五 州 是 慶 安 太 平 記 之 異 奔 也 寺 貨 葺 蘭 寺 〇 二 十 七  
 日 乙 亥 雨 昨夜 大雨 不止 午前 瓦 大 起 雨 戶 閣 居 寺 常 寂 後 末  
 也 觀 水 二十八日 丙子 晴 午後 遠望 錄 寺 連 平 飯 之 寺 二 十  
 九日 丁丑 曇 微雨 日終 不 離 亦 頻 服 葺 蘭 寺 寺 左 工 門 者 劫 六  
 貞 是 下 三 人 扶 持 為 新 小 性 末 子 寺 寺 堂 者 初 末 也

電王 悉一 狂 二 八 千 三 九 千 過 辛丑八月 及二万也 年二万五百也

毛が三年タラヒテ人ガ猿ナラバウラカカメハ何猿ソシリ海ワハ九テト墨ダ

主六字ト三奈州テ物ニ如オクナヒクニ何逢度ニ魚匠ヲテ哭ヒテ身ニカニスガ  
 ドラシク心カカヒ又其カモスニ習ヒテセメテ今昔成變マア笑テ叱ラシクマヤ  
 春十分梅ノ杪ニ老一ツ春在秋變院ニテ介トモ也

溢標ノ五陽ノ皮ヲ羊寺テ建日ニ 九月十五日

秋方ノ思ハ夢ニシテ行末上ニ現カカニ冬枯ヤ塔邊ニワタ骨ヨリニ夢覺シ人ノ損ナシ吾モ  
 幸長尾ヲ想テ遺テ全原ニ現半分履ノ音 九月十五日 夜雨ニ著  
 幾重方早逝スニ馳テ行羊歩息モモス〇春ノ白川五百テ暮ニケリ以 雪花ニニテ又色垂下林ノ

浦山 歎心耳 身ノ流久毛亦久天 九月十五日 夜雨ニ著  
 杜鵑 声一入ノ 顔ノ月夜ヲ那 四月四日 夜雨ニ著  
 散カラニ 惜ニシモスニ 山櫻 二月廿日 夜雨ニ著

鑄ノ音十盛ノ花ニ 埋モヒテ 九月十五日 夜雨ニ著



扶桑畧記字本 西郡神通口文心發錄五 春日權理驗記寫本

神通辨惑二 康久記明德記惠仁記合刻 應永記一 喜吉記一

錦倉大草子寫本 和漢金蓮園四

聖書勲聚 日吉神通秘卷花日神樂入流 神皇正統記終神皇正統記天台座主記

松穗物語 山内堂社記已上七部 古語拾遺

春臺獨語寫本 玉勝間三篇九冊 古今著同集三十 新著同集十一

日本歲時記五 取戎慨言四

○行乞坊見是院通稱也 且寺子通稱也 通稱アノカ 各自ノ姓名所宗他令ノ姓名所 檀葉第千七百可見

釋姓 韶隆宗名 迷明字 荷香芥號 摩新三毒 是正武也 俗利 正利

定又千字世ノ中ノ墓並ハ 是リニハ 多クノ者又カカ 辛丑閏正月 十四日著作

辛丑春正月八日所寫年賀帖

正覺院大僧正 惠因良大僧正 白身山 走取坊 准安承院 四王院僧正 戒藏院

竟城院 杉林院 安祥院 觀明院 慈光院 大無坊 行走坊 安春院

妙音院 多高院 地務院 三走院 般若院 物持坊

西宮孫西執齒 現童院 或善院 觀成院 厚泉院 普門院

明王院 元光院 等覺院 泉童院

僧行慈見仔前蓮花多嘉淨想者及是教寫本

今日又午月アノ吹ケル羊ノ歩障ヲナカリキ







